

平成 29 年度国産畜産物安心確保等支援事業（家畜排せつ物利活用推進事業）

おが粉代替敷料に関する技術指導研修会

開 催 要 領

平成 29 年 10 月 16 日付け 29 年度発中畜第 2935 号

1 目的

家畜用敷料として古くから利用されているおが粉は、近年、木質系バイオマス発電所への需要増大や、製材工場の木材加工の減少等から、地域によっておが粉供給量不足、価格上昇が見られ、畜産経営への影響が懸念されています。

このため、標記事業では昨年度、現地調査を行い、専門家による検討等を踏まえ、「おが粉代替敷料利活用マニュアル」を取りまとめ、公表しました。

今回、マニュアルの紹介を中心に代替敷料に関する情報提供を行い、より効果的な利用方法について意見交換を行います。

2 開催日程

(1) 1回目

日時：平成 29 年 11 月 21 日（火）13：00～16：45

場所：TKP 御茶ノ水カンファレンスセンター ホール 2 A

（東京都千代田区神田駿河台 4-3 新お茶の水ビルディング）

主催：公益社団法人中央畜産会

(2) 2回目

日時：平成 29 年 12 月 12 日（火）13：00～16：45

場所：かごしま空港ホテル 2階「プルメリア」

（鹿児島県霧島市溝辺町麓 616-1）

主催：公益社団法人中央畜産会

後援（予定）：公益社団法人鹿児島県畜産協会

3 内容

(1) きのこ菌床等の特徴とその利活用方法について

（地独）北海道立総合研究機構森林研究本部林産試験場 主査 山崎亨史氏

(2) 戻し堆肥、もみ殻の特徴とその利活用方法について

（一財）畜産環境整備機構畜産環境技術研究所 研究統括監 道宗直昭氏

(3) 「メタン発酵残さの家畜敷料への利用」（仮）

別海バイオガス発電株式会社 所長 有田博喜氏

(4) 「ペーパースラッジの家畜敷料への利用」（仮）

オー・ジー株式会社営業本部東京支店営業第 3 部 市川勇太氏

(5) 質疑応答・意見交換

4 参加費 無料（定員 各 100 名）

但し、会場までの交通費等は各自ご負担をお願いいたします。

5 参加申込み方法

別紙参加申込書により、平成 29 年 10 月 31 日（火）迄に FAX 又はメールにて申込みを
お願いいたします。

6 その他

本研修に関することにつきましては、経営支援部(支援・調査)仲村、御代田までご連絡
ください。(TEL:03-6206-0843)